

2005
No. 14

特集

こんなストレス感じていませんか？



朝霞市男女平等推進情報紙

もくじ

身近な男性たちにインタビュー
昔VS今 仕事事情あれこれ
朝霞市女性総合相談
いろいろ情報
日本女性会議に参加しました！

仕事事情 あれこれ



女性の社会進出が話題になったのはいつだったでしょう。男女を問わず自由に職業を選べるようになってきたのは、つい最近のことですよね。結婚以外に女性が生きていく術がなかった時代が長く続いたせいでしょうか。その一つ前の江戸時代は、庶民にとっても自由だったらしい、と知ることは驚きであり、女性にとって嬉しいことです。

女性の仕事、職業は、当時武家の奉公人か下働きの下女、あるいは遊女くらいなものと思っていました。これは私たちが一般的に「仕事」＝企業に雇用されるサラリーマンをイメージするところからきた間違いでしょう。江戸の庶民は、その日暮らしの超零細個人営業の行商人や職人が、圧倒的に多かったんですね。男女を問わずみんなができることをして生活を支えていた。当時の風俗が

うかがえる絵を見ると、たくさん女性の生き生きと働く姿が描かれています。

物光りには女性が多かつたようですし、着物の仕立てや洗い張り、商家の下働き、質仕事、乳母や子守りなども女性の仕事としてあつたようです。また住み込みの奉公人ばかりでなく、隙間産業とでもいえる肉職的な家事代行サービス業も需要がたくさんあつたらしい。食べていくくらい収入は女性でも稼ぐことができたそうです。

おかみさんは「山の神」。大事にされたらしく、おかみさんをいつもニコニコさせておくのが男の甲斐性と言われたそう。うらやましい気がしますねえ。

文明開花で得たものはたくさんあつたでしょうが、失つたものもまたたくさんあつたようです。男女の区別なくおおらかに暮らしていた江戸庶民に学ぶことで、もう一度今の私たちの暮らしを見直してみませんか。*今回で「昔vs今」江戸の庶民シリーズはお終いです。

江戸の仕事つくし 竹内誠 監修 学研
江戸事情 生活編 NHKデータ情報部 雄山閣
江戸庶民の暮らし 田村栄太郎 雄山閣

あさか女と男セミナーを開催しました!

「なぜ女も男も生きにくいのだろうか?」



平成17年1月から2月にかけて、5回の連続講座を中央公民館・コミュニティセンターにて開催しました。内容は、第1回「どう生きる?女と男」講師:内田典子さん(埼玉大学非常勤講師)・第2回「パートナーとの関係って?」講師:石崎節子さん(民間女性の地位協会理事)・第3回「自分を解かせるために」講師:野口やよいさん(フリーライター)・第4回「老後をなくそう」講師:高柳美知子さん(人間と性教育研究所所長)・第5回「わいわいトーク」講師:内田典子さんで、女と男の関わりや社会のあり方など、現在の生きにくさの背景にある問題点を見つめ、のびやかな生き方をめざすことを学ぶセミナーとなりました。*このセミナーは、「あさか女と男フアン推進委員会」セミナー企画・運営担当委員の皆さんが企画・運営したものです。委員の皆さん、2年間、ありがとうございました。阿部哲子、銀林 実、金子良子、川野紀代美、木村晶代、村上徳子、戸高早智子、春野真徳、吉田雅代、綿谷厚子

朝霞市女性総合相談

悩める女性のために

家族間のもめごとや対人関係の悩み、暴力や虐待、離婚問題などあなたの悩みや問題などに対して経験豊かな専門家がご相談をお受けします。

- 個人の秘密は守ります。
- 相談は無料です。

相談日 毎週木曜日 (祝・休日にあたる場合は前日)
時間 午前10時～午後3時
場所 市役所1階 市民相談室
問合せ 市民生活課女性政策係
電話 048-463-2697 (直通)



日本は社会進出が盛んになりました。あさか女と男フアン推進委員会
ごよかせ相談委員の紹介
2年間、ありがとうございました。秋山和子、栗島佳織、茂木静枝、横田節子

＜参加した一般公募の市民と市議員＞
昨年10月22日～23日の2日間、愛媛県松山市で行われた第21回会議に、朝霞市から6名が参加し、男女共同参画社会等について学びました。(※日本女性会議報告書を市庁舎に掲示しています。ぜひ、ご覧ください。)

編集後記

あたりまえの幸せ、あたりまえの豊かさ、そのあたりまえって一体何なんでしょうね。制度、慣習、歴史、こうしていろいろ考えることは結構あるモノです。ちやほほもがらの風邪予備軍とも思われています。小さなささくれが大きなきみにならないよう、できるだけ皆さんの声に耳を傾けてあげては... (K)